

Member Circular 10/2015

米国油濁事故対応計画書 - California Shoreline Protection (カリフォルニア州海岸線保護) - MSRC、So Cal Ship Services (SCSS)

こちらは、英文記事「[US Vessel Response Plans - California Shoreline Protection - MSRC So Cal Ship Services \(SCSS\)](#)」(2015年12月)の和訳です。

メンバー各位

2016年1月1日以降、MSRCは、カリフォルニア州のワイナメ港 (Port of Hueneme) に寄港する船舶やサンタバーバラ海峡の南行き航路帯を通航する船舶に対して、California Shoreline Protection (「CAS P」) およびOn Water Response Coverageに係るサービスの提供を取り止めます。MSRCは即時対応サービスの提供を停止しながらも、サンタバーバラ海峡やワイナメ港において12時間以降のサービスに係る計画基準を満たすことは継続し、当該港・航路帯で事故が発生した場合には対応するとしています。

一方で、船舶がカリフォルニア州規則を順守できるように、2016年1月1日以降は、So Cal Ship Services (SCSS) が、ワイナメ港に寄港する船舶に対し2時間の油回収サービスおよび海岸線保護に係る計画基準に適合したCASP対応サービスの提供を開始し、また、サンタバーバラ海峡の南行き航路帯を通航する船舶に対しては6時間油回収計画基準に適合した6時間回収対応サービスの提供を開始する予定です。

So Cal Ship ServicesのShoreline Protection Agreement (海岸線保護協定) の内容は、国際P&Iグループのガイドラインに適合しています。この協定には次のフッターが付されています (下記リンクからアクセスできます)。

[“SQMS-ADM-500 SLP-SBC Agreement - Rev 0-0 12-15”](#)

これら一連の変更の影響を受けるのは、カリフォルニア州のタンカーおよびタンカー以外の船舶の油濁事故対応計画書の中でMSRCを指定し、サンタバーバラ海峡を通航するまたはワイナメ港に入港する船舶の船主のみです。

上記の内容に関するご質問は、Gard (UK) Limitedの[Nick Platt](#)・[Mary Cantle](#)、Gard (North America) Inc.の[Frank Gonynor](#)までお問い合わせください。

国際グループに加入するすべてのクラブが同様のサーキュラーを発行しています。

敬具

GARD AS



Rolf Thore Roppestad
CEO (最高経営責任者)

本情報は一般的な情報提供のみを目的としています。発行時において提供する情報の正確性および品質の保証には細心の注意を払っていますが、Gardは本情報に依拠することによって生じるいかなる種類の損失または損害に対して一切の責任を負いません。

本情報は日本のメンバー、クライアントおよびその他の利害関係者に対するサービスの一環として、ガードジャパン株式会社により英文から和文に翻訳されております。翻訳の正確性については十分な注意をしておりますが、翻訳された和文は参考上のものであり、すべての点において原文である英文の完全な翻訳であることを証するものではありません。したがって、ガードジャパン株式会社は、原文との内容の不一致については、一切責任を負いません。翻訳文についてご不明な点などありましたらガードジャパン株式会社までご連絡ください。